

○社外アドバイザーから頂いた御意見



<総論>

- “「つなぐ」価値の創造”という言葉は、人、地域、社会などあらゆるステークホルダーをつなぐという広い意味を持っており、会社の価値観の共有に役立っている。今後、様々な活動をする際に、常にこれを参照しながら、社会にもアピールしていくことが大切。
- 理性と知性を経営の真ん中に置いて、これからも常に国民を味方につけるよう、取り組んで欲しい。
- 建設、維持管理等やるべきことは多岐にわたっており、償還期間の延長もやむをえないのではないか。
- 優秀な人材が入りたくなるような会社になってもらいたい。そのためには常に挑戦することが重要。

1. 民営化の目的とその達成状況 関係

- ここまでの民営化の成果には低金利やデフレによる要因もあるが、経済情勢の変化にかかわらず、今後とも継続的に成果を出すよう期待している。
- 料金制度など民営化と言えない部分も残っている。
- 海外事業は重要な取組み。世界最先端企業でありつづけるためには、先進国(米・欧)の情報を常に把握しておくことも重要であり、内容によっては、NEXCO3社がバラバラではなく、共同でやる方が良い。

2. 経営基盤の強化に向けた自主性の発揮と持続的変革 関係

<コスト縮減>

- コストの縮減は管理水準や景観を維持することが前提。
- 新設事業のコスト縮減や技術開発についてもアピールすべき。
- 民営化前に3割コスト削減を実施したが、安直にコストダウンをするのではなく、国民に対し、サービス水準の見える化を図り、コストダウンのエビデンスを示すことで、理解を得ながら事業を進めて欲しい。
- タスク・ダイエットの事例など、現場での取組みをネクスコ3社で共有できるような仕組みを作り、技術の研鑽、社員のモチベーションアップに活かすべき。

○社外アドバイザーから頂いた御意見



<グループ経営>

- グループ化は民間企業であれば当然。また、グループ会社との協働体制の構築は良い取組みであり、また、グループ会社に対してしっかりガバナンスが効いていることを示せばよい。
- 維持管理子会社は、補修や災害時の危機管理対応等を考えると地域密着型の体制が合理的。

<道路管理>

- 各期ごとの事故通行止めによる経済的な損失額を把握し、必要に応じて公表することも重要。
- 首都圏の恒常的な渋滞対策として、国の審議会で「あらゆる方策を駆使した戦略的な渋滞対策が必要」と言及されている点も踏まえ、朝夕の混雑時間帯の料金アップも含め、弾力的な料金制度による解決策を会社としても検討して欲しい。
- 道路もメンテナンスのウェイトが大きくなっている。いざ使えなくなるとその重要性に気付かない「隠れたインフラ」にならないように、“SMH構想”といった新技術による効率的な点検方法の開発、既存構造物の長寿命化など、メンテナンス分野の技術開発の数値的目標を掲げて取り組んで欲しい。
- 地域に愛される存在となれるよう、ネクスコの技術力で人員が不足している地方自治体等を支援してほしい。

<道路建設>

- 東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、首都圏の高速ネットワーク整備のスピードアップを期待しているが、それだけでなく、日本全体の地域の活性化につながるよう、積極的に知恵を出してほしい。

<関連事業>

- ガソリンスタンド網の維持は重要な視点。
- 観光への取組みについて、企画割引など会社の創意工夫を最大限発揮しながら、地域と一体となって実施してほしい。